

吉田一路先生

（高師　康）

先生は岐阜市加納の出身で、岐阜中学でサッカーをやりその仲間が卒業後の東京の学校に進学すると必ず先生の所に集まってきた。先生が大正14 年 4 月に東京高等師範学校を卒業して浦和中学に着任すると、後輩たちも浦和まで来るようになった。

先生は在学中に英語劇でお嬢さんの役をやりそれが大当たりで「お嬢さん」のアダ名がつきそのアダ名も浦和中学までついて来た。

先生は在学中ＲＷをやり、卒業の年は主将でカレッジリーグで優勝した。

特技は浮き球をあやつり、左足のインサイドで右足の前に落とし、それをセンターリングして得点に結びつけていた。ゴール前でシュートしやすい,微妙なタイミングを持っていた。浦和へ来てからも、義父中学のＯＢで「スワロークラブ」を作って、東京の大会に何度か出場したが、練習もせずブッツケ本番でも、チームワークのとれた試合をやって見せていた。

これは先生の不思議な魅力で、先生が長野県上田中学に転勤されてからも、浦中の生徒が上田市まで何回も出かけたことで知られる。

一方では浦中はフェアプレーとマナーの良さで知られ、７年生高等学校の東京高校や成城高校の尋常科（中学にあたる）から練習試合を申し込まれるようになった。